

令和元年度動物愛護週間ポスターのデザイン絵画コンクール受賞作品

○最優秀作品（環境大臣賞）今年度動物愛護週間ポスターに使用



浦 覚水 さん（岡山県在住）

◆作品に関するコメント

小さい頃から動物が好きで、今回のポスターコンクールに応募しました。動物も人間と同じ生き物で歳を取りますが、ずっと一緒に生涯を共にできたら、という思いを込めて描きました。

○優秀作品（動物愛護週間中央行事実行委員会委員長賞）※50音順



池田 虎吉さん（宮崎県在住）

◆作品に関するコメント

ぼくの家には飼い主にすてられて殺処分されそうになった動物をたくさん飼っています。中には元々病気の子や体の不自由な子もいます。お世話は大変だけど、この子達はぼくの大切な家ぞくです。そんな気持ちを描きました。



稲垣 茉莉さん（愛知県在住）

◆作品に関するコメント

私の祖父とペットの犬を描きました。ペットが年をとったら、エサや運動の量などを変えなければいけません。また飼い主が年をとったら、自分でペットの世話ができなくなった時のことを考えなければいけません。一番暮らしやすい環境で安心して生活することで幸せに長生きできると思います。



大村 泰久さん（奈良県在住）

◆作品に関するコメント

「人」という文字はお互いに支え合うことによってできているというもったもな俗説がある。多くの方がペットからやがて家族の一員になったという話も聞いている。そういうデザインベースで表現しました。



高吉 逞花さん（鹿児島県在住）

◆作品に関するコメント

今は高齢化が進みペットを最後まで飼えなくなることが問題になっています。この絵はそんな人のペットを家族がお手伝いし助け合いお世話をして最後まで飼いつけてほしいと思って描きました。



柘植 雅一さん（愛知県在住）

◆作品に関するコメント

ペットと共に生きていく覚悟と楽しさを描きました。